

式 辞

凍てついていた南部陣屋川の冷水がゆるみ、本校を見下ろす写万岳からの爽やかな風に少しずつ春の訪れを感じるようになりました。

本日、ここに、保護者の皆様方の祝福と激励の下、北海道長万部高等学校第七十二回卒業証書授与式を挙行できますことは、この上ない慶びでございます。

本来であれば多くのご来賓の皆さまにご臨席賜るところではございますが、昨年度に引き続き感染症拡大防止の観点から長万部町長木幡正志様、PTA会長赤塚顕爾様よりご祝辞を賜り、挙行することとなりましたことにご心よりお詫び申し上げます。またご臨席を賜りました皆様方には、衷心よりお礼申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与されました十六名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

す。皆さんは「和而不同」の校訓のもと、学習活動や学校行事、生徒会活動、部活動にとそれぞれの歩みを重ね3年間にわたる教育課程を修了し、本日、卒業を迎えました。これまでの皆さんの努力に敬意を表するとともに、心からお祝い申し上げます。

また、保護者の皆様におかれましてはお子様の晴れの門出をお慶び申し上げますとともにこれまで3年間本校の教育活動にご理解ご協力を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

この3年間成長し続け、今、長万部高校から羽ばたく卒業生十六名をお祝いし、次の2つの言葉を贈ります。

一つめは、「困難にくじけず、前を向いて歩く」ということです。

皆さんが社会の中心の担う2045年頃は、いわゆるシンギュラリティの時代です。加速度的に発展していくAIが、自らの能力を超え

るAIを創り出す時代です。皆さんが40歳になっっている頃です。このシンギュラリティの時代を主体的に生き抜き、困難にくじけず、前を向いて歩く人になってほしいと願っています。人生には必ず何度か壁にぶつかります。その壁をよけるのではなく、真正面から堂々と直進し壁を乗り越えていってください。自分の心次第で壁は高くなったり低くなったりします。是非困難に打ち克つ力を身に付けてください。

二つ目は、「笑顔を大切にし、夢を叶える」ということです。

「安全・安心な学校、主体的に学ぶ学校、笑顔あふれる学校」は今年度の学校経営方針です。実際にはどこまで笑顔があふれたかわかりかねますが、笑顔は周りの人たちを幸せにします。「笑顔は1ドルの元手もいらませんが、百万ドルの価値を生み出す。」とアメリカの教育学者デール・カーネギーは述べています。卒業アルバムに見る皆さんの笑顔はとても素敵でした。

さらにその笑顔を武器に夢を実現してください。ミツキーマウスの生みの親であるウォルト・ディズニーは「夢を求め続ける勇気さえあれば、すべての夢は必ず実現できる。いつだって忘れないでほしい。すべて1匹のネズミから始まったということ」と述べています。

「夢」という主語に係る述語は「叶える」や「実現する」が正解です。高校卒業にあたってこれまで以上に笑顔を大切にして自分も周りも幸せにして夢を叶えてください。

終わりになりますが、卒業生の皆さんが次のステージで夢を叶え、生き生きと躍動される新しい人生の1ページを制作されることを心より期待するとともに、ご参会の皆様方のご健勝を祈念申し上げます、式辞といたします。

令和五年三月一日

北海道長万部高等学校長

濱田哲也